

寺尾小で田植え体験

(2020年06月30日)



お米の大切さ学ぶ

寺尾小学校で田植えの体験学習が6月26日に行われ、5年生54人が参加した。この体験学習は寺尾小PTAや育成会のOBらが組織する「どんぐりの会」など地域の協力で、実施されている。

児童は、田んぼの泥の感触を感じながら、田植え綱の目じるしに合わせ、手作業で稲を植えた。今年は密を避けるため、一人おきに間隔を空けて作業を行った。

「どんぐりの会」会長の菅原さんは「子どもたちも貴重な体験になったと思います。田植えの経験をもとに、食べ物を大切にす気持ち、仕事の大切さを考えてもらえると嬉しいです」と話す。

参加した大澤くんは「田植えは体力が必要で大変だけど、楽しかった。この経験を糧に、お米の大切さをもっとよく知って、もっと食物を大事にしていきたい」と笑顔で話した。

作業中に、急な雨に見舞われたが、「どうせ濡れるんだから大丈夫」と子どもたちは笑顔で田植えを楽しんでいた。10月下旬に、稲刈り体験が行われる予定。

寺尾小で稲刈りの体験学習

(2022年10月18日)



5年生の米作り体験

寺尾小学校の5年生が10月17日に稲刈りの体験学習を行った。この体験学習はPTAの父親委員会や地域の農業者がボランティアで協力して実施しており、6月には田植えの体験学習が行われた。

稲刈りに先だって、鎌の扱い方など作業の説明を受けた後、田んぼに入り、元気いっぱい稲を刈り取った。この日は刈り取った稲の脱穀まで行った。

体験した児童は「楽しかったです」と感想を話していた。松井栄一校長は「初めて稲刈りをする子どもたちも多かったと思います。貴重な体験ができ、キャリア教育として、子どもたちの将来に生きると思います」と話した。

収穫した米は、地域や学校の行事で使われる予定。

次の記事 [箕郷多目的運動場を整備](#)

前の記事 [高崎高島屋「志村けんの大爆笑展」開幕](#)

ツイート

いいね! 0 シェアする

記事を検索